

# 理念体系の相互関係図

SOCIAL WELFARE CORPORATION SHOTOKUKAI

精神の具現化プロセス

成果の還元プロセス

## ★ 5. 果実：めざす福祉

『周囲の人に、喜ばれる存在になる。』

感謝される

必要とされる

選ばれる

【社会的成果】 理念と行動が一致した結果として得られる、社会からの高い評価です。

## 🌿 4. 枝葉：職員行動指針

笑顔

第1条  
笑顔で接します

謙虚

第2条  
謙虚な姿勢

共感

第3条  
同じ目線で

前向き

第4条  
前向きに

研鑽

第5条  
学ぶ姿勢

地域

第6条  
地域を大切に

健康

第7条  
心身を大切に

気づき

第8条  
小さな気づき

連携

第9条  
チーム力

感謝

第10条  
感謝の気持ち

【日常の実践】 日々の支援における、昭徳会職員としての心のありようと行動規定です。

## 🏠 3. 幹：基本方針

- 1 ひとりひとりに、思いやりの心をもって接します
- 2 ひとりひとりを尊重し、その人にあった支援をします
- 3 ひとりひとりを大切に、まごころで接します
- 4 幸福をめざし、援助技術の向上に努めます
- 5 お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます

## 🍊 2. 核（種）：基本理念

# 幸福

（しあわせ）

「すべての人の幸福を願う」

## 📍 1. 根：法人名の由来

## 「徳をあきらかにし、徳を以って世間を照らす」

【精神の源泉】

創立以来のアイデンティティ

【生命線】

全活動を支える地下水流

## 🔄 理念体系の循環（因果のループ）

1912年の「由来」を汲み、「基本理念」を胸に、「基本方針」を守り、「行動指針」を重ねることで、「喜ばれる存在」となります。その評価が再び法人の「由来」へと還元される、永続的なサイクルです。



# 社会福祉法人昭徳会 『理念体系の相互関係図』

精神の具現化プロセス

成果の還元プロセス

5. 果実  
2022年策定

## 昭徳会のめざす福祉 (社会的成果)

### 私たちの約束

私たちは、すべての活動を通じて、地域社会から信頼され、必要とされる存在であり続けることを誓います。

### つながり

行動を積み重ねた先に、「周囲の人（利用者・職員・地域住民）に喜ばれる」という果実が実ります。世間を照らすことの証明となります。

4. 枝葉  
2012年策定

## 職員行動指針 (日常の実践)

### 私たちの約束

私たちは、プロフェッショナルとして自らの行動に責任を持ち、常に誠実さと感謝を忘れないことを約束します。

### つながり

笑顔（第1条）や学び（第5条）、感謝（第10条）といった個々の行動が、基本方針を現実のものとし、理念の「枝葉」として広がります。

3. 幹  
2000年策定

## 基本方針 (組織の姿勢)

### 私たちの約束

私たちは、組織として揺るぎない方針を遵守し、誰もが安心できる質の高い福祉を安定して提供し続けます。

### つながり

ひとりひとりへの思いやりや技術の向上など、5つの方向性を示すことで、理念を具体的な支援の形へと変換する役割を担います。

2. 核(種)  
2000年策定

## 基本理念 (究極の目的)

### 私たちの約束

私たちは、すべての利用者の「幸福（しあわせ）」を願い、その実現のためにあらゆる努力を惜しみません。

### つながり

源泉から汲み上げられた精神は、『幸福（しあわせ）』という一言に集約され、すべての判断の絶対的な基準となります。

1. 根  
1912年創立

## 法人名の由来 (精神の源泉)

### 私たちの約束

私たちは、百有余年続く歴史の重みを誇りとし、創立の精神を絶やすことなく未来へ繋いでいくことを守り抜きます。

### つながり

「徳をあきらかにし、徳を以って世間を照らす」という使命が、すべての活動を地下から支えるエネルギーとなっています。

## ● 理念体系の循環（因果のループ）

「由来」を汲んだ職員が、「理念」を胸に、「基本方針」という規律を守りながら、「職員行動指針」を一つずつ積み重ねることによって、結果として「喜ばれる存在（果実）」となります。その社会的評価や信頼が、再び法人の「由来」である「徳」へと還元され、大樹をさらに強く育てていくという永続的なサイクルを表しています。